

- 問1 紀元前1600年ごろの中国・殷王朝において、政治の指針を決める占いの結果などを記録するために用いられた文字は何と呼ばれますか。亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、現在の漢字の原型となったものを次の中から選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 楔形文字 2. 甲骨文字 3. フェニキア文字 4. ヒエログリフ
-
- 問2 世界史と日本史の年代を照らし合わせたとき、7世紀の出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用 2. イエスによるキリスト教の成立と、日本での仏教の伝来 3. 孔子による儒教の成立と、日本での古墳の築造 4. シャカによる仏教の創始と、日本での稲作の普及
-
- 問3 16世紀以降の南アメリカ大陸における、ヨーロッパ諸国の進出と植民地化の様子について説明した文として、正しいものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. イギリスやオランダが大陸へ進出し、キリスト教の布教を禁止して植民地を広げた。 2. スペインやポルトガルが大陸へ進出し、先住民を征服して広大な領土を支配した。 3. 16世紀からイギリスやフランスが大陸へ進出し、先住民と協力して新しい国家を建設した。 4. 18世紀からスペインやポルトガルが大陸へ進出し、先住民の文明を保護しながら統治した。
-
- 問4 18世紀後半から、オーストラリアがイギリスの支配下に置かれ、開拓や資源の獲得の拠点となっていた歴史的な状態を指す用語として、最も適切なものを選択してください。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 植民地 2. 自治領 3. 委任統治領 4. 保護国
-
- 問5 日本の縄文時代において製作された「土偶」について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。 2. 大規模な古墳が造られる中で、亡くなった支配者の権力を象徴し、その死後を守るための副葬品として作られた。 3. 大陸から伝わった稲作技術が広まる中で、収穫した稲を保存するための高床倉庫の装飾として作られた。 4. 律令制度のもとで、成人男性が都へ赴いて労働の代わりに納める税の一種として、全国で均一に作られた。
-
- 問6 古代中国の各王朝で見られた文化や社会の様子について述べた文として、正しいものはどれか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 漢の時代には、初めて青銅器が作られ、万里の長城の建設が開始された。 2. 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。 3. 秦の時代には、西方との交易路であるシルクロードを通じて仏教が伝わった。 4. 殷の時代には、始皇帝によって度量衡や貨幣の統一が進められた。
-
- 問7 古代メソポタミア文明において編纂されたハンムラビ法典の歴史的な意義について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. ナイル川の氾濫を予測する天文学と結びつけ、農業の時期を厳格に管理することで、神の化身としての王の権威を強化しようとした。 2. 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。 3. 身分制度を完全に否定し、すべての人々が法の下で平等であることを宣言することで、市民による民主的な政治を実現しようとした。 4. カースト制度と呼ばれる厳格な身分秩序を法的に正当化し、宗教的な儀礼を遵守させることで、都市の衛生状態を保とうとした。
-
- 問8 日本列島における、生活用具の出現や技術の発展について、古いものから順に正しく並べた組み合わせを選びなさい。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 打製石器 → 磨製石包丁 → 縄文土器 → 須恵器 2. 打製石器 → 縄文土器 → 磨製石包丁 → 須恵器 3. 磨製石包丁 → 縄文土器 → 打製石器 → 須恵器 4. 縄文土器 → 打製石器 → 須恵器 → 磨製石包丁
-
- 問9 中国の春秋戦国時代という社会の混乱期において、親族間の情愛を基本とする「仁」の心を重視し、道徳によって国を治めるべきだと説いた思想家は誰か。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. 老子 2. 孟子 3. 孔子 4. 朱子
-
- 問10 古代ギリシャにおいて、山がちな地形や島々が点在する地理的要因もあり、各地に形成された小規模な独立した政治単位である「都市国家」を何と呼びますか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 帝政 2. ポリス 3. 封建領主 4. 共和政
-
- 問11 古代文明が共通して大河の流域で発達した理由と、その社会の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
1. 大河の氾濫を防ぐための治水や灌漑によって農業生産力が高まり、王などの支配者が現れて神殿を築き、記録のために文字を使用した。 2. すべての文明において碁盤の目状の計画的な都市が建設され、海岸沿いの交易によって得た富を使い、市民による民主的な議事堂を建設した。 3. 赤道周辺の熱帯地域において、自然の産物を利用した狩猟採集を行い、すべての住民が平等に暮らすための巨大な宮殿を建設した。 4. 山岳地帯の厳しい自然環境に適応するため、牧畜を中心とした生活を送り、文字を持たずに口伝のみで法律や歴史を伝承した。
-
- 問12 古代のエジプトにおいて、太陽暦の作成や測量技術が発達した理由として、最も適当なものはどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. ナイル川が定期的に増水するため、農作業の時期や土地の再測定が必要だったから。 2. 他地域との貿易を盛んに行うため、船の航海に必要な星の動きを観察したから。 3. 広大な領土を統一するために、王の権力を示す大型の建築物を建てる必要があったから。 4. 乾燥した砂漠地帯で水を確保するために、地下水路を建設する必要があったから。
-
- 問13 7世紀のアラビア半島において、唯一の神アラーから啓示を受けたムハンマドによって創始された宗教は何か、名称を答えなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 仏教 2. キリスト教 3. イスラム教 4. ヒンドゥー教
-
- 問14 紀元前2500年ごろ、現在のパキスタン付近を流れるインダス川流域で栄えた文明において使用され、石製の印章（印鑑）などに刻まれているものの、現在も解読されていない文字を何といいますか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 神聖文字（ヒエログリフ） 2. 甲骨文字 3. 楔形文字 4. インダス文字

答え合わせ・解説

問1	答え 2 甲骨文字	古代中国の殷では、王が亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加えてひび割れを作り、その形を見て神の意思を占っていました。その占いの内容や結果を骨に刻んで記録したものが甲骨文字です。これは物の形をかたどった象形文字であり、長い年月をかけて形が整えられ、現在の漢字へと発展しました。
問2	答え 1 ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用	イスラム教は7世紀に成立し、同じ時期の日本では645年に大化の改新が始まり、日本初の元号である「大化」が制定されました。キリスト教の成立は1世紀（日本は弥生時代）、仏教の成立は紀元前（日本は縄文～弥生移行期）、儒教の成立も紀元前であり、いずれも7世紀の出来事ではありません。
問3	答え 2 スペインやポルトガルが大陸へ進出し、先住民を征服して広大な領土を支配した。	16世紀の大航海時代以降、ヨーロッパ諸国は海外進出を本格化させました。南アメリカ大陸には主にスペインとポルトガルが到達し、インカ帝国などの先住民の文明を征服して植民地としました。この影響で、現在もブラジルではポルトガル語、それ以外の多くの国ではスペイン語が公用語として使われ、カトリックを信仰する人々が多いという文化的特徴が見られます。イギリスやオランダが中心となったわけではなく、また18世紀よりも前から進出は始まっています。
問4	答え 1 植民地	1788年にイギリスの船団がシドニーに到着して以降、オーストラリアはイギリスの流刑地や定住地として開発されました。このように、ある国が自国の主権を国外に広げ、軍事的・経済的に支配した土地を植民地と呼びます。当初は先住民であるアボリジニの居住地でしたが、イギリスはこれらを「無主の地」として支配を強めました。
問5	答え 1 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。	縄文時代の人々は、狩猟や採集による生活を営む中で、あらゆる自然物に靈魂が宿ると考えるアニミズム的な世界観を持っていました。土偶は、そうした信仰の中で、大地の豊穡や子孫繁栄、病気やけがの治癒を祈るための呪術的な対象として用いられました。選択肢にある「古墳の副葬品」は古墳時代の埴輪などの説明であり、「律令制度の税」は飛鳥・奈良時代の「庸」などの説明にあたります。
問6	答え 2 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。	紀元前16世紀頃に興った殷（商）では、占いの結果などを記録するために、亀の甲羅や牛の骨に文字を刻みました。これが漢字の原型とされる甲骨文字です。シルクロードの開通や仏教の伝来は漢の時代の出来事であり、度量衡の統一や万里の長城の整備は秦の時代の政策です。
問7	答え 2 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。	メソポタミアは周囲に遮るものがない開かれた地形で、多くの民族が絶えず侵入・交代する地域でした。異なる文化や習慣を持つ人々を一箇所にまとめて統治するためには、共通のルールを文章化（成文化）し、王の権威のもとで統一的な裁判を行う必要がありました。これにより、社会の秩序を保ち、国家としてのまとまりを強化することに成功しました。他の選択肢は、ギリシャの民主政、エジプト文明、インダス文明の特徴が混ざっています。
問8	答え 2 打製石器 → 縄文土器 → 磨製石包丁 → 須恵器	日本列島の歴史において、まず旧石器時代に石を打ち欠いて作った打製石器が使われました。その後、縄文時代になると煮炊き用の縄文土器が登場し、弥生時代には本格的な稲作の普及に伴って稲の穂を摘み取るための磨製石包丁が普及しました。古墳時代には、朝鮮半島から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになりました。
問9	答え 3 孔子	春秋戦国時代の諸子百家の一人であり、武力による統治ではなく、礼節と「仁」の心に基づいた道徳政治を提唱しました。彼の教えは後に「儒教」としてまとめられ、日本を含む東アジア諸国の政治理念や道徳観に深く浸透することとなりました。
問10	答え 2 ボリス	古代ギリシャでは、平野が狭く山地が多いという地形的特徴から、一つの大きな国家にまとまるのではなく、アテネやスパルタのような「ボリス」と呼ばれる独立した都市国家が多数誕生しました。各ボリスは城壁で囲まれた市街地と農地を持ち、独自の軍隊や法律を備えていました。
問11	答え 1 大河の氾濫を防ぐための治水や灌漑によって農業生産力が高まり、王などの支配者が現れて神殿を築き、記録のために文字を使用した。	大河の周辺では、定期的な氾濫によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農耕が可能でしたが、大規模な治水や灌漑を行うには多くの人々を組織化する強力な指導者が必要でした。こうして誕生した国家の王は、自らの権力を示すために神殿や宮殿を建設し、徴税や行政の記録、法律の公布などの必要性から文字を発明して使用しました。
問12	答え 1 ナイル川が定期的に増水するため、農作業の時期や土地の再測定が必要だったから。	ナイル川は毎年決まった時期に増水するため、その時期を正確に知るための太陽暦が作られました。また、増水によって農地の境界線が消えてしまうことから、土地を正しく測り直すための測量技術が発達しました。
問13	答え 3 イスラム教	ムハンマドは商業都市メッカで、唯一神アラーの啓示を受けたとしてこの宗教を始めました。聖典をコーランとし、信者の平等や一日に数回の礼拝など、生活全般にわたる厳しい教えを定めたことで、アラビア半島から急速に広まりました。
問14	答え 4 インダス文字	インダス文明で用いられた文字は、象形文字に近い形態を持っており、これまでに約400種類の記号が確認されています。主に印章と呼ばれる石のハンコに動物の絵とともに刻まれており、交易の際の所有権を示すために使われたと考えられていますが、ロゼッタ・ストーンのような翻訳の鍵となる資料が見つかっていないため、今なお未解読のままです。